

中島進 なかじま すすむ 詩人、歌人。明治四十一年愛知縣名古屋市長生れ、昭和七年十一月八日歿（一九八一三）。本名正太郎。筆名南砂、川邊あしき、路愁。名古屋市中役所勤務の傍ら夜霧詩社を興し、詩誌『夜霧』創刊。のち口語歌を作り、昭和二年黒点歌社を興す。翌年町井猛、伊藤春郎等と名古屋新短歌協會を設け、會誌『白日の曠』を創刊。また、歌帖『夕結・野・陽炎』（昭和五年九月二十五日名古屋新短歌協會）を出版し、爾後諸誌に寄稿してゐたが、結核を病み早逝。

遺稿集『蒼白と追憶』（町井猛編、昭和九年十二月二十一日愛知・中島進君遺稿集刊行會）。

